

■東京プリンセス賞(S I)アラカルト(過去 10 年の分析)

※記録は 4 月 1 日時点のもの

■桜花賞出走馬が7勝で圧倒的に優位

◇桜花賞出走馬は 7 勝、2 着 6 回、3 着 4 回

◇桜花賞出走馬は第 16 回以降、第 28 回(平成 26 年)を除くすべての年で連対している。

※第 25 回(平成 23 年)は震災の影響により桜花賞は中止。

◇桜花賞不出走の馬は 3 勝、2 着 4 回、3 着 6 回

■桜花賞1着馬は9頭が出走して2勝

◇第 20 回優勝 チャームアスリーブ

◇第 23 回優勝 ネフェルメモリー

※2 頭とも桜花賞で 1 番人気に応えての勝利。桜花賞を 1 番人気で制した馬は勝率 100%。

※①、⑪、⑦、①、②、不、④、②、⑯、③着で、2 勝、2 着 2 回、3 着 1 回。

■桜花賞2着馬は7頭が出走して、1勝、2着1回

◇第 21 回優勝 アグネスターフ

◇第 23 回 2 着 モエレターナル

■東京2歳優駿牝馬の上位馬が好走

◇第 22 回優勝 ブライズメイト(東京 2 歳優駿牝馬の 2 着)

◇第 23 回優勝 ネフェルメモリー(同 1 着)

◇第 26 回 2 着 エンジェルツイト(同 1 着)

◇第 27 回優勝 カイカヨソウ(同 1 着)

◇第 29 回優勝 ティーズアライズ(同 2 着)

3 着 ララベル(同 1 着)

※昨年の東京 2 歳優駿牝馬は 1 着モダンウーマン、2 着リンダリンダ、3 着ミスミランダ。

■準重賞・桃花賞の優勝馬は1勝、2着1回

◇第 24 回 2 着 ショウリダバンザイ

◇第 25 回優勝 マニエリスム

■連対馬20頭中19頭が2勝以上を挙げていた

※唯一の例外馬は、第 22 回 2 着ハタノギャラン。

■ホッカイドウ競馬からの移籍馬に注目

◇5勝、2着8回、3着5回と活躍

◇JRAからの移籍馬は1勝、2着1回、3着1回

■外国産馬は3着1回

※外国産馬は4頭が出走して、第21回ピュアーフレームの3着が最高。

■船橋所属馬が8勝でリード

◇TCK所属馬 1勝、2着4回、3着4回。3着内率 30.0%

◇船橋所属馬 8勝、2着4回、3着4回。3着内率 53.3%

◇川崎所属馬 1勝、2着2回、3着2回。3着内率 16.7%

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率 0.0%

※第22回以降、船橋所属馬が7連勝中だったが、昨年第29回で途切れた。

■1番人気馬が3勝

◇1番人気馬 3勝、2着3回、3着2回。3着内率 26.7%

◇2番人気馬 1勝、2着3回、3着0回。3着内率 13.3%

◇3番人気馬 3勝、2着1回、3着0回。3着内率 13.3%

◇4番人気馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率 3.3%

◇5番人気馬 0勝、2着0回、3着3回。3着内率 10.0%

◇6番人気馬 1勝、2着2回、3着1回。3着内率 13.3%

※上位人気馬3頭の3着内率は、53.3%と信頼性に欠ける。

※4番人気以下の馬が、3勝、2着3回、3着8回。

とくに4~6番人気馬が1勝、2着2回、3着5回と無視できない。

■前2走とも4着以下だったのは、全30頭中5頭

※また前2走とも掲示板(5着)を外していた馬は第29回優勝ティーズアライズ1頭のみ。

■連対馬の当日の馬体重は、前走から±ひと桁が理想

※第27回2着イチリュウは計測不能だったためここでは除外する。

※連対馬19頭中17頭が該当。

※3着内馬29頭でも24頭が該当。

※3着内の例外馬5頭は、第20回2着ヨシノアルテミス(-15キロ)、同3着クリムゾンルージュ(+10キロ)、第22回2着ハタノギャラン(-12キロ)、第24回3着スターオブジュリア(-13キロ)、第25回3着ラカンパーナ(-12キロ)だった。

■逃げ切りは1回

◇第22回 ネフェルメモリー(1番人気)

※第26回は逃げたエンジェルツイト(1番人気)が2着だった。

■今野忠成騎手が3勝

※今野忠成騎手は第20回、第26回、第27回で優勝。

■故川島正行調教師が4勝

■⑧番から内で90勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	0	1	2	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
2着	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0
3着	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0	2

■東京プリンセス賞(S I)アラカルト(過去全 29 回の分析)

※第 16、17 回は 1790mで実施

※記録は 4 月 1 日時点のもの

■1番人気馬はわずか5勝で、勝率約17.2%と不振

◇1番人気馬 5勝、2着7回、3着5回。3着内率 58.6%

◇2番人気馬 7勝、2着6回、3着1回。3着内率 48.3%

◇3番人気馬 6勝、2着3回、3着1回。3着内率 34.5%

※1番人気馬が勝てないクラシックレース。

■人気上位3頭によるワンツートの可能性は約27.6%

◇29回中18回は3番人気以内の馬が優勝。その確率 62.1%

◇29回中8回が3番人気以内の馬によるワンツート。その確率 27.6%

◇29回中1回が3番人気以内の馬によるワンツースリー。その確率 3.4%

■南関東牝馬三冠レースの第2戦

◇牝馬三冠馬は、平成18年チャームアスリーブのみ

◇2冠馬は8頭(昭和62年、東京プリンセス賞創設後)

平成5年 ホワイトアリーナ(桜花賞、関東オークス)

平成6年 ケーエフネプチュン(関東オークス、東京プリンセス賞)

平成7年 ヘイワンリーフ(関東オークス、東京プリンセス賞)

平成9年 シルバーアクト(桜花賞、関東オークス)

平成13年 ナミ(桜花賞、東京プリンセス賞)

平成17年 テンセイフジ(東京プリンセス賞、関東オークス)

平成21年 ネフェルメモリー(桜花賞、東京プリンセス賞)

平成24年 アスカリーブル(東京プリンセス賞、関東オークス)

■船橋所属馬が最多の14勝で圧倒

TCK所属馬 8勝

船橋所属馬 14勝

川崎所属馬 7勝

■外国産馬は未勝利

※第21回ピュアーフレームの3着が最高。

※TCK実施の3歳クラシックレースで、外国産馬が未勝利なのは、このレースのみ。

■今野忠成騎手が4勝

※石崎隆之騎手が3勝で続く。

■故川島正行調教師が4勝

※現役調教師で複数回(2回)優勝を果たしているのは川島正一調教師のみ。

■⑨番から外は2勝だけ

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	6	3	2	5	5	2	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0
2着	2	3	3	1	3	2	1	3	3	1	1	1	2	0	2	1
3着	1	1	2	5	1	3	2	1	4	1	1	2	1	2	0	2

■③枠が8勝でトップ

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	8	6	8	3	2	1	0	1
2着	3	5	6	1	6	2	2	4
3着	2	6	3	4	5	2	4	3

※⑦枠は未勝利